

採択が行われたために、それ以降我が国でも原則として石油専焼の火力発電所の新設は出来なくなり、広野火力発電所の 5,6 機は石炭が使用されている。



磐城天然ガス田は残念ながら枯渇してしまったが、海底にガス田の層があるかぎり、太平洋プレートの内側のどこかに第二の磐城天然ガス田が埋もれているはずであって、もう一度綿密な海底調査をして欲しい。

21 世紀は海底開発の世紀になることは確かで、20 世紀は石油が欲しいばかりに、ABCD ラインの経済封鎖に押し潰されそうになり、太平洋戦争に駆り立てられてしまった苦い経験があるが、今世紀は海底資源開発の端緒に就いたばかりで、どのように展開するかは皆目判らないが、少なくとも夢は見る事が出来る。

